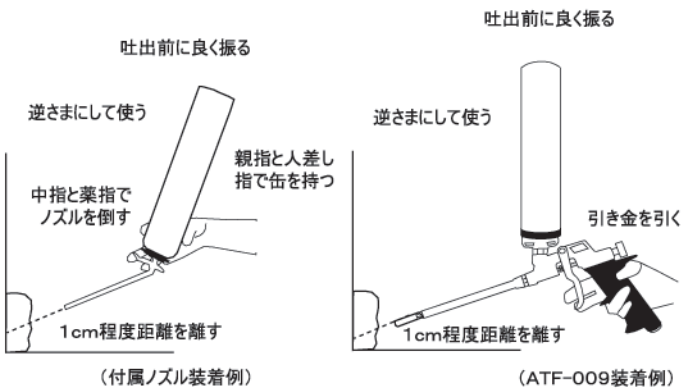


■使用イメージ

大きく仕上げるときや3面接着以上の箇所に使うときは水霧吹き(水滴が少しく程度)をして発泡を助けるようにしてください。



■使用量の目安

Lサイズの場合

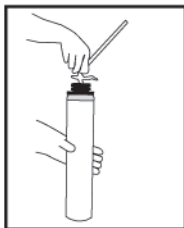
幅10mm×高10mm=約500メートル  
幅10mm×高20mm=約250メートル  
幅10mm×高30mm=約166メートル  
幅20mm×高20mm=約125メートル  
幅20mm×高30mm=約83メートル  
幅20mm×高40mm=約62メートル

Mサイズの場合

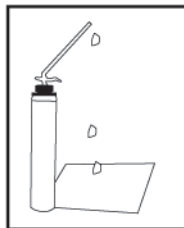
幅10mm×高10mm=約250メートル  
幅10mm×高20mm=約125メートル  
幅10mm×高30mm=約83メートル  
幅20mm×高20mm=約62メートル  
幅20mm×高30mm=約41メートル  
幅20mm×高40mm=約31メートル

※現場発泡品は缶液温、作業場所の温度や湿度、対象物の温度、施工する形状により発泡影響を受けるため1本当りの使用量に変化があります。なるべく水霧吹きなどで発泡形成を助けるようにお使いください。

■付属のノズルを使う場合の手順



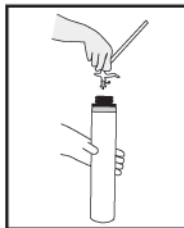
缶本体に付属の2種の充填用ノズルを一旦取り外して、使用するノズルを缶バルブに軽く押し込んで装着します。



中断の際は残液付着に注意をして、余分な液が周囲に付着してしまわないよう新聞紙の上などに缶本体を置くようにします。



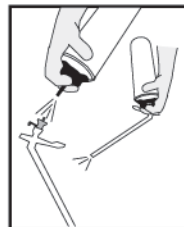
使用する前は缶本体を10回ほど振ってください。(再吐出のときにも缶本体をよく振ってからお使いください)



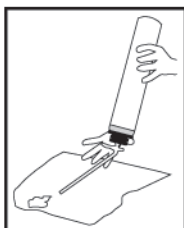
作業を中断するときは中断後10分以内に汚れたノズルを取り外してノズル内部やノズルカプラをクリーナーで洗浄します。



ノズル根元を軽く斜めに倒すと液が吐出されます。強く倒すと液は勢いよく吐出されますので勢いを指元で加減しながら使います。



汚れたノズルをそのままクリーナーにセットし、クリーナーを吐出してノズル内部を洗浄します。必要に合わせて噴霧洗浄も行います。



ノズルを離すと液は停止しますがストロー部の残液により若干余分に液の吐出が続くので目的よりも早めに停止をするように心掛けます。



缶本体の液吐出口付近にもクリーナーをスプレー。分解された少量の液を外部に押し出して洗浄終了。洗浄に関わらず以後は早めに使い切ります。

■付属品

ATF-012 充填用ストローノズル(長さ約180mm 外径約8mm)  
ATF-013 楕円ノズル(長さ約180mm 外径横10mm幅4mm)

別売のATF-016テーパノズルを使うことができます(先細テーパ 外径約3mm)  
別売のATF-017延長ノズルを使うことができます(長さ約600mm 外径約10mm)

■対応洗浄液(別売)

エアータイトクリーナー全種対応

※硬化する前のフォームを分解洗浄するためのアイテムです。作業前にご用意いただくことを推奨いたします。(硬化する削り落とすしか除去する方法がございません)

■対応吐出ガン(別売)

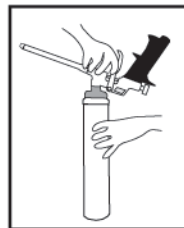
エアータイトガン全種対応

※吐出ガンは必ず純正のものをお使いください。他品などを使用すると故障の原因になるだけでなく事故の原因にもつながります。当社での責任を負えませんので必ずお守りください。

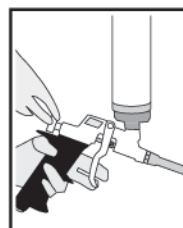
■保管について

※直射日光のあたる場所(屋内外問わず)ならびに直射日光によって著しく暑くなる車の中など絶対に長時間放置をしないでください。缶をバーナーで急速に温めたりストーブやヒーターの近くなどに置かないでください。お湯で温めたりすることもサビによる缶破裂を招く恐れがあるために行わないでください。水のある所に保管しないでください。  
※開封未開封に関わらず缶は必ず正立状態(立った状態)で保管をしてください。横に寝かせて保管を続けるとバルブの詰まりを招いて使用期限内であって使えなくなります。

■別売の吐出ガンを使う場合の手順



缶本体に付属のノズルを取り外します(無くさず保管)。吐出ガンの装着部分に真直ぐに素早くねじ込んで装着します。



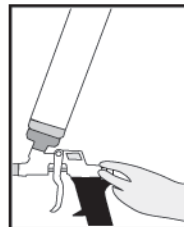
吐出量調整ネジを徐々に左回りに緩めながら引き金を引き、液の吐出勢いを新聞紙の上などで確認してから使います。



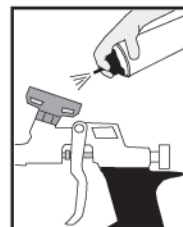
吐出ガン(ATF-008・009)に付属の整泡ストローを2cmほどにカットして吐出ガンの先端に取り付けてください。(ATF-007は極細ノズルを取り付ける)



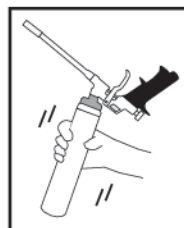
缶が空になったらビニル袋の中で手際よく缶を取り外します。中身が残っていると缶を外すときに不意に中身が噴射するので注意。



吐出ガン後部の吐出量調整ネジを一旦右回りに最後まで回して引き金をロックされた状態にします。



取り外しを終えた吐出ガンの装着部分へ直ちにクリーナーをスプレーして汚れを落とします。洗浄を怠ると装着部分が詰まります。



使用する前に缶本体を10回ほど振ってください。(再吐出のときにも缶本体をよく振ってからお使いください)



吐出ガンにクリーナーを装着して数回引き金を引き洗浄液を噴射。5分程そのまま放置し再度洗浄液を噴射して缶を取り外す。